

第 61 回プリマーテス研究会

2017 年 1 月 28 日 (土)・1 月 29 日 (日)

於：公益財団法人日本モンキーセンター

口頭発表：ビジターセンターホール

ポスター発表：セミナーハウス白帝



The 61st PRIMATES Conference

January 28 (Sat) - January 29 (Sun), 2017

Venue: Japan Monkey Centre

Oral Session: Visitor Center Hall

Poster Session: Seminar House "Hakutei"

2016 年 1 月 28 日 (土) January 28, 2016 (Sat)

10:00 開会挨拶

10:15 ~ 11:00 口頭発表① **Oral Session 1**

0-1 笹が決める？：屋久島山頂部のニホンザルの標高移動

○本田剛章、半谷吾郎（京都大学霊長類研究所）

0-2 ボルネオ島ダナムバレイ保護区における果実生産量とオランウータンの密度 – 2 回の一斉結実を含む 10 年間の季節変化 –

○金森朝子¹、久世濃子²、Henry Bernard³、Peter T. Malim⁴、幸島司朗⁵（¹ 京都大学霊長類研究所、² 国立科学博物館人類研究部、³ マレーシア・サバ大学、⁴ サバ野生生物局、⁵ 京都大学野生動物研究センター）

0-3 野生ボルネオ・オランウータンの出産間隔と果実生産量の関係 ~ 11 年間の記録 ~

○久世濃子^{1,2}、金森朝子³、Renata Mendonça³、蔦谷匠⁴、田島知之⁴、山崎彩夏⁵、Henry Bernard⁶、Peter T. Malim⁷（¹ 国立科学博物館人類研究部、² 京都大学霊長類研究所、³ 京都大学霊長類研究所、⁴ 京都大学理学研究科、⁵ 東京動物園協会、⁶ マレーシア・サバ大学、⁷ サバ野生生物局）

11:00 ~ 11:15 休憩 **Coffee Break**

11:15 ~ 12:00 口頭発表② **Oral Session 2**

0-4 昼行性霊長類の夜間行動について

○奥村太基¹、星野智紀¹、山田将也¹、荒木謙太¹、早川卓志^{1,2}、綿貫宏史朗^{1,2}、松田一希^{1,3,4}
（¹（公財）日本モンキーセンター、² 京都大学霊長類研究所、³ 京都大学野生動物研究センター、⁴ 中部大学）

0-5 レッサースローロリスのおとこたちは共存できるのか

○山梨裕美¹、根本慧²、大島悠輝²、廣澤麻里^{1,2}、綿貫宏史朗^{2,3}（¹ 京都大学野生動物研究センター、²（公財）日本モンキーセンター、³ 京都大学霊長類研究所）

0-6 ペア飼育ロリスにおける糞 DNA からの個体識別：ガム給餌に伴う腸内細菌叢変化の解析に向けた研究

○松島慶¹、山梨裕美¹、奥村文彦²、廣澤麻里^{1,2}、藤森唯²、寺尾由美子²、土田さやか³、牛田一成³、早川卓志^{2,4}（¹ 京都大学野生動物研究センター、²（公財）日本モンキーセンター、³ 京都府立大学、⁴ 京都大学霊長類研究所）

12:00 ~ 13:30 休憩 **Break**

13:30 ~ 14:30 口頭発表③ **Oral Session 3**

0-7 霊長類音声の類似度比較：スペクトル変化の分析

○杉野強¹、平松千尋²、山下友子³、上田和夫²、中島祥好²（¹ 九州大学大学院芸術工学府、² 九州大学大学院芸術工学研究院、³ 芝浦工業大学工学部共通学群）

0-8 ワオキツネザルのオス由来の匂い物質に対するメスの応答行動

○糸井川壮大¹、早川卓志^{1,2}、田中ちぐさ²、杉浦直樹²、坂口真悟²、今井啓雄¹（¹ 京都大学霊長類研究所、²（公財）日本モンキーセンター）

O-9 ドローンを用いた野生下ウマの群内個体配置に関する研究

○井上漱太¹、山本真也²、リングホーファー萌奈美²、Renata Mendonça³、平田聡¹（¹ 京都大学野生動物研究センター、² 神戸大学国際文化学研究所、³ 京都大学霊長類研究所）

O-10 ブータンにおける霊長類研究

○川本芳¹、大井徹²、千々岩哲³、濱田穰¹、Purna B. Chhetri⁴、Tshewang Norbu⁴、Pema Wangda⁴、Tshewang Dorji⁴、Kinley Rabgay⁴、Rinchen Dorji⁴、Sherabla⁴、Kinley Tenzin⁵（¹ 京都大学、² 石川県立大学、³ 株式会社地球環境計画、⁴ Ministry of Agriculture and Forests, Bhutan、⁵ Royal Society for Protection of Nature, Bhutan）

14:30 ～ 14:45 休憩 **Coffee Break**

14:45 ～ 16:00 口頭発表④ **Oral Session 4**

O-11 霊長類多種を対象とした食物分配実験

○山本真也¹、前原英紀²、大木圭佑³、篠原亜佐美⁴、張晨¹、倉知美沙⁵、黒澤圭貴⁶、瀧山拓哉³、川口ゆり⁷、峠明杜⁷、櫻庭陽子⁷、寺田佐恵子⁸、上野将敬⁹、早川卓志^{7,10}、綿貫宏史朗^{7,10}
（¹ 神戸大学国際文化学研究所、² 神戸大学国際文化学部、³ 京都大学理学部、⁴ 京都大学教育学研究科、⁵ 岐阜大学応用生物科学部、⁶ エム・アール・アイ リサーチアソシエーツ(株)、⁷ 京都大学霊長類研究所、⁸ 環境省自然環境局野生生物課、⁹ 大阪大学人間環境学研究所、¹⁰ (公財) 日本モンキーセンター）

O-12 飼育下におけるテナガザル異種ペア作り

○石田崇斗¹、山田将也¹、菊田恭介¹、綿貫宏史朗^{1,2}、打越万喜子^{1,2}、岡部直樹^{1,3}、木村直人¹、伊谷原一^{1,3}
（¹ (公財) 日本モンキーセンター、² 京都大学霊長類研究所、³ 京都大学野生動物研究センター）

O-13 同所的に生息する野生ゲエノン 3 種における全遺伝子配列の比較解析

○早川卓志^{1,2}、田代靖子、橋本千絵¹、五百部裕³、今井啓雄¹（¹ 京都大学霊長類研究所、² (公財) 日本モンキーセンター、³ 梶山女学園大学）

O-14 Toque macaque exome sequencing study

Nilmini Hettiarachchi¹、中岡博史²、井ノ上逸朗²、池尾一穂³、長田直樹⁴、早川卓志^{5,6}、○斎藤成也¹
（¹ 国立遺伝学研究所集団遺伝研究部門、² 国立遺伝学研究所人類遺伝研究部門、³ 国立遺伝学研究所遺伝情報分析研究室、⁴ 北海道大学大学院情報科学研究科生命人間情報科学専攻、⁵ (公財) 日本モンキーセンター、⁶ 京都大学霊長類研究所）

16:00 ～ 18:00 ポスターセッション **Poster Session**

2016 年 1 月 29 日 (日) January 29, 2016 (Sun)

10:00 ~ 11:15 口頭発表⑤ Oral Session 5

O-15 京都市動物園における霊長類学初歩実習：北野高校の取り組みⅣ -A

チンパンジーの社会関係・ゴリラの個体間距離

○乾真子¹、○島亜梨沙¹、○宗田夏帆¹、横山実玖歩²、七五三木環³、瀧山拓哉⁴、川口ゆり⁵、川上文人⁶、山梨裕美⁶、山本真也⁷ (¹ 北野高等学校、² 京都大学総合人間学部、³ 京都大学農学部、⁴ 京都大学理学部、⁵ 京都大学霊長類研究所、⁶ 京都大学野生動物研究センター、⁷ 神戸大学大学院国際文化学研究科)

O-16 京都市動物園における霊長類学初歩実習：北野高校の取り組みⅣ -B

個体間の接触から見る社会関係・出産に伴うチンパンジーの社会関係の変化

○小野日菜子¹、○幸野立奈¹、横山実玖歩²、七五三木環³、瀧山拓哉⁴、川口ゆり⁵、川上文人⁶、山梨裕美⁶、山本真也⁷ (¹ 北野高等学校、² 京都大学総合人間学部、³ 京都大学農学部、⁴ 京都大学理学部、⁵ 京都大学霊長類研究所、⁶ 京都大学野生動物研究センター、⁷ 神戸大学大学院国際文化学研究科)

O-17 京都市動物園における霊長類学初歩実習：関西大倉高等学校の取り組みⅣ -A

マンドリル、ゴリラ、チンパンジーの移動速度と距離・チンパンジー、ゴリラの移動様式とその継続時間

○友田珠代¹、○角田芙美¹、横山実玖歩²、七五三木環³、瀧山拓哉⁴、川口ゆり⁵、川上文人⁶、山梨裕美⁶、山本真也⁷ (¹ 関西大倉高等学校、² 京都大学総合人間学部、³ 京都大学農学部、⁴ 京都大学理学部、⁵ 京都大学霊長類研究所、⁶ 京都大学野生動物研究センター、⁷ 神戸大学大学院国際文化学研究科)

O-18 京都市動物園における霊長類学初歩実習：関西大倉高等学校の取り組みⅣ -B

マンドリルのグルーミングとそこに見られる社会性・チンパンジーの行動の、接地・非接地時の比較

○青山波可¹、○黒田将生¹、横山実玖歩²、七五三木環³、瀧山拓哉⁴、川口ゆり⁵、川上文人⁶、山梨裕美⁶、山本真也⁷ (¹ 関西大倉高等学校、² 京都大学総合人間学部、³ 京都大学農学部、⁴ 京都大学理学部、⁵ 京都大学霊長類研究所、⁶ 京都大学野生動物研究センター、⁷ 神戸大学大学院国際文化学研究科)

O-19 公益財団法人日本モンキーセンター「リスザルの島」での研究実践活動

ボリビアリスザルの活動時間割合およびその季節変化・アカンボウの成長と他個体との関わり

○小栗乃衣梨、○寺澤奈那、足立恭果、近藤優羽、川嶋梨湖、近藤絢子、佐伯千乃、服部愛、○大久保直美、浅井梨那、前川幸代 (南山高等・中学校女子部 JST 中高生の科学研究実践活動推進プログラム霊長類学入門)

11:15 ~ 11:30 休憩 Coffee Brake

11:30 ~ 12:15 口頭発表⑥ Oral Session 6

O-20 博学連携推進への手立てと課題 ー犬山市内小学校と日本モンキーセンターとの連携を実施していく中でー

○古市博之 (犬山市立城東小学校)

O-21 Sequencing Huntingtin orthologs in non-human primate species

○Giulio Paolo Formenti¹, Elena Cattaneo¹, Hiroo Imai², Hirohisa Hirai² (¹Department of Biosciences, University of Milan and INGM Foundation, ²Primate Research Institute, Kyoto University)

O-22 動物園でデグー (*Octodon degus*) が「勉強」している様子の展示

○黒田敏数¹、長谷川裕士²、三井桃依²、半田希²、野村愛永²、三宅菜穂美²、早川卓志^{2,3}
(¹ 愛知文教大学、² (公財) 日本モンキーセンター、³ 京都大学霊長類研究所)

ポスターセッション Poster Session

- P-1 カリンズ森林に同所的に棲息するゲエノン 3 種の食性比較 ～昆虫食に着目して～**
○峠明杜、早川卓志、岡本宗裕、橋本千絵、湯本貴和（京都大学霊長類研究所）
- P-2 タイ都市部で暮らすミズオオトカゲの新知見について**
○大瀨希郷^{1,2}（¹ 京都大学野生動物研究センター、²（公財）日本モンキーセンター）
- P-3 飼育下キツネザルの夜間行動**
○田中ちぐさ¹、杉浦直樹¹、坂口真悟¹、早川卓志^{1,2}、松田一希^{1,3}（¹（公財）日本モンキーセンター、² 京都大学霊長類研究所、³ 中部大学創発学術院）
- P-4 An overview of cultural variation in Japanese macaques**
Claire FI Watson¹, Tetsuro Matsuzawa^{1,2}（¹Primate Research Institute, Kyoto University, ²Institute of Advanced Study, Kyoto University）
- P-5 Patterns of Food Transfer in Free-ranging Orangutans**
○Tomoyuki Tajima¹, Titol Peter Malim², Henry Bernard³（¹Kyoto University, ²Sabah Wildlife Department, Malaysia, ³Universiti Malaysia Sabah, Malaysia）
- P-6 アフリカ大型類人猿における集団内 / 隣接集団間の血縁構造**
○石塚真太郎（京都大学霊長類研究所）
- P-7 Development of independence and behavior of wild immature East Bornean orangutans (*Pongo pygmaeus morio*), Danum Valley Conservation Area**
○Renata Mendonça¹, Tomoko Kanamori¹, Noko Kuze², Misato Hayashi¹, Henry Bernard³, Tetsuro Matsuzawa¹（¹Primate Research Institute, Kyoto University, ²National Museum of Nature and Science, Tokyo, ³Institute for Tropical Biology and Conservation, Universiti Sabah Malaysia）
- P-8 コドモの発達過程からみるボノボ父系集団の社会関係**
○戸田和弥¹、坂巻哲也¹、柳興鎮¹、徳山奈帆子¹、伊谷原一²、古市剛史¹（¹ 京都大学霊長類研究所社会進化研究室、² 京都大学野生動物研究センター）
- P-9 大型類人猿とヒトにおける物の操作の発達**
○林美里¹、竹下秀子²（¹ 京都大学霊長類研究所、² 滋賀県立大学）
- P-10 The study of numerical competence in chimpanzees, horses, and tortoises**
○原口大希¹、熊崎清則²、Pierre Sauvage³、三井桃衣⁴、半田希⁴、長谷川裕士⁴、Anna Wilkinson⁵、友永雅己⁶（¹ 山口大学医学部、² ホースマンかかみが原、³ フランス国立ツールーズ獣医大学、⁴（公財）日本モンキーセンター、⁵ リンカーン大学、⁶ 京都大学霊長類研究所）
- P-11 How do chimpanzees discriminate primate species based on faces?**
○Duncan Wilson, Masaki Tomonaga（Primate Research Institute, Kyoto University）

P-12 Learning the rock-paper-scissors game rule in chimpanzees and children

○ Jie Gao¹, Yanjie Su², Masaki Tomonaga¹, Tetsuro Matsuzawa¹ (¹Primate Research Institute, Kyoto University, ²Peking University)

P-13 フサオマキザルは顔から同種・他種の年齢を弁別できるか

○ 川口ゆり¹、黒島妃香²、藤田和生² (¹ 京都大学大学院理学研究科、² 京都大学大学院文学研究科)

P-14 Body site preference in the genus *Pan*

○ Morgane Allanic¹, Satoshi Hirata², Misato Hayashi¹, Tetsuro Matsuzawa^{2,3} (¹Primate Research Institute, Kyoto University, ²Wildlife Research Center, Kyoto University, ³Institute for Advanced Study, Kyoto University)

P-15 ハンドウイルカにおけるエコロケーションによる数の認識

○ 櫻井夏子¹、都築ななえ¹、亀垣ななみ¹、友永雅己² (¹ 南知多ビーチランド、² 京都大学霊長類研究所)

P-16 Chimpanzees but not orangutans display aversive reactions toward their partner receiving a superior reward

○ Yena Kim^{1,2}, Jae Choe³, Dong Sun Kim⁴, Masaki Tomonaga² (¹Research Institute of EcoScience, Ewha Womans University, Seoul, Republic of Korea, ²Primate Research Institute, Kyoto University, ³Division of EcoScience, Ewha Womans University, Seoul, Republic of Korea, ⁴Seoul Zoo, Gwacheon, Republic of Korea)

P-17 Some like it hot: Japanese macaques lower glucocorticoid levels by bathing in hot springs

○ Rafaela S. C. Takeshita, Fred B. Bercovitch, Kodzue Kinoshita, Michael A. Huffman (Primate Research Institute, Kyoto University)

P-18 飼育下ハヌマンラングールのメスにおける性ホルモン濃度動態調査

○ 木村 嘉孝¹、川出 比香里¹、土屋 知己¹、木下 こづえ² (¹ 宇部市ときわ動物園、² 京都大学霊長類研究所)

P-19 Comparison of Human Endogenous Retrovirus K (HERV-K) expression in various tissues of primates and human

○ Hee-Eun Lee^{1,2}, Hee-Jae Cha³, Takashi Hayakawa^{4,5}, Imai Hiroo⁶, Heui-Soo Kim^{1,2} (¹College of Natural Sciences, Pusan National University, ²Genetic Engineering Institute, Pusan National University, ³College of Medicine, Kosin University, ⁴Primate Research Institute, Kyoto University, ⁵Japan Monkey Centre, ⁶Primate Research Institute, Kyoto University)

P-20 旧世界ザルにおける苦味受容体の遺伝的多様性

○ 鈴木 - 橋戸南美¹、早川卓志^{1,2}、辻大和¹、Laurentia Henrieta Permita Sari Purba³、Sarah Nila³、Kanthi Arum Widayati³、Bambang Suryobroto³、今井啓雄¹ (¹ 京都大学霊長類研究所、² (公財) 日本モンキーセンター、³ ボゴール農科大学)

P-21 中部地域における飼育下チンパンジーのメスの繁殖状況について

○ 奥村文彦¹、福守朗²、森村成樹^{1,3} (¹ (公財) 日本モンキーセンター、² 鹿児島市平川動物公園、³ 京都大学野生動物研究センター)

P-22 宇部市ときわ動物園におけるハヌマンラングールの人工哺育と群れ入り ―群れ入りまでの過程とその後の行動について―

○ 川出比香里、木村嘉孝、為近学 (宇部市ときわ動物園)

P-23 社会性を持つサルたちの単独飼育の解消

○星野智紀¹、奥村太基¹、荒木謙太¹、綿貫宏史朗^{1,2} (¹ (公財) 日本モンキーセンター、² 京都大学霊長類研究所)

P-24 日本モンキーセンターにおける霊長類の混合飼育 4 例

○綿貫宏史朗^{1,2} (¹ 京都大学霊長類研究所、² (公財) 日本モンキーセンター)

P-25 南米生息地研修を通した南米館屋内展示室の改良

○根本慧、大島悠輝、堀込亮意、綿貫宏史朗、赤見理恵 ((公財) 日本モンキーセンター)

P-26 チンパンジー・アキラの自傷行為をなくしたい

○廣澤麻里^{1,2}、奥村文彦¹、藤森唯¹、星野智紀¹、坂口真悟¹ (¹ (公財) 日本モンキーセンター、² 京都大学野生動物研究センター)

P-27 日本モンキーセンターにおけるチンパンジーの群れ管理

○藤森唯¹、奥村文彦¹、廣澤麻里^{1,2}、星野智紀¹、坂口真悟¹、伊谷原一^{1,2} (¹ (公財) 日本モンキーセンター、² 京都大学野生動物研究センター)

P-28 飼料から目指す動物たちの福祉 ～品目数増加にむけて～

○星野智紀、奥村太基、菊田恭介、杉浦直樹、荒木謙太、安倍由里香、今井由香 ((公財) 日本モンキーセンター)

P-29 レッサースローロリスの口内疾患の発生状況と対策について

○寺尾由美子¹、岡部直樹^{1,2}、鏡味芳宏¹、根本慧¹、奥村文彦¹、廣澤麻里^{1,2}、大島悠輝¹、東峯万葉¹、藤森唯¹、木村直人¹ (¹ (公財) 日本モンキーセンター、² 京都大学野生動物研究センター)

P-30 飼育オランウータンにおけるヒト用歯科簡易検査による口腔内評価 第 2 報

○中村千晶¹、清水美香²、下重法子²、細田孝久²、佐橋智弘³、久世濃子^{4,5}、(¹ チアキデンタルクリニック、² 多摩動物公園、³ 旭川市旭山動物園、⁴ 国立科学博物館、⁵ 日本学術振興会)

P-31 動物園飼育下サル類の簡易で安価な栄養評価法の検討

○木村直人¹、寺尾由美子¹、鏡味芳宏¹、東峯万葉¹、廣澤麻里^{1,2}、岡部直樹^{1,2}、新宅勇太^{1,2}、伊谷原一^{1,2} (¹ (公財) 日本モンキーセンター、² 京都大学野生動物研究センター)

P-32 コンゴ民主共和国 Mbali 地域でのボノボの感染症調査

○新宅勇太^{1,2} (¹ (公財) 日本モンキーセンター、² 京都大学野生動物研究センター、³ Projet Mbali of Kyoto University)

P-33 Le Tichodrome: A French Wildlife Rescue Center

○Gonseth Chloe (Primate Research Institute of Kyoto University)

P-34 霊長類に関する素朴概念と動物園教育

○赤見理恵、高野智 ((公財) 日本モンキーセンター)

P-35 NPO 法人東山動物園くらぶにおける動物園との協働事業

○櫻庭陽子^{1,2}、柴田軒吾²、佐藤和哉²、堤創² (¹ 京都大学霊長類研究所、² NPO 法人東山動物園くらぶ)

P-36 フィールドワーカーから学ぶ体験プログラム ～ワイルドサマーキャンプ～

○鏡味芳宏¹、高野智¹、赤見理恵¹、伊谷原一^{1,2} (¹(公財)日本モンキーセンター、²京都大学野生動物研究センター)

P-37 「ふれあい活動」従事者の課題意識と動物福祉の観点から見た活動のありかた

○並木美砂子(帝京科学大学)

P-38 KIDSZOO における今後の団体対応にむけて ～引率者の事後アンケートからの振り返り～

○三井桃依、長谷川裕士、半田希、野村愛永、鏡味芳宏、寺尾由美子、赤見理恵 ((公財)日本モンキーセンター)

P-39 モンキーセンターで部活 ?! ～京大モンキーキャンパス・エンリッチメントサークル～

○中村千晶¹、井川雄太¹、後藤齊¹、綿貫宏史朗²、赤見理恵² (¹日本モンキーセンター友の会、²(公財)日本モンキーセンター)

P-40 日本モンキーセンターのミュージアムショップの現状と課題 - 公益法人化後の 3 年間をふり返って -

○江藤彩子、阪倉若菜、安倍由里香、高野智 ((公財)日本モンキーセンター)

開催予告：第 62 回プリマーテス研究会

日程：2018 年 1 月 27 日（土）・28 日（日）

会場：公益財団法人日本モンキーセンター

The 62nd PRIMATES Conference

Date: January 27 (Sat) - January 28 (Sun), 2018

Venue: Japan Monkey Centre



主催：公益財団法人日本モンキーセンター

共催：京都大学霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院

Hosted by Japan Monkey Centre

Co-Hosted by Leading Graduate Program in Primatology and Wildlife Science, Kyoto University